

平成 22 年度ふれあい行事開催報告

行事名	世界湿地の日記念イベント 湿原の森探検！ーサロベツ&インドネシアー
主催（後援）	サロベツ・ネイチャーゲームの会、環境省、豊富町（サロベツ学会）
開催日	2011年2月6日（日） 10:00～14:30
場所	サロベツ湿原センター及び周辺の森林
参加者	参加者 10名 スタッフ 7名
行事の概況	今年のテーマが「森林と湿地」であることから、屋外活動ではスノーシューを履いて湿地に隣接する森を歩き、アカエゾマツやトドマツなどの針葉樹、広葉樹の冬芽、動物の足跡といった冬の自然観察を行った。また、景色の好きな部分を額縁から覗く“森の美術館”というネイチャーゲームを行った。屋内活動では世界の湿地にも目を向けようと、インドネシアの湿地とそこに住む人々の暮らしを紹介する映像を紹介した。その後、身近なものと同様に、自然界のものを表現することを楽しんでもらおうと、サロベツ周辺に生息する動物の一つであるヒグマの顔の折り紙講習を行った。

<活動の様子>



1：アカエゾマツとトドマツの違いについて説明を聞く。



2：針葉樹の梢から見える空を額縁に入れたよ。



3：インドネシアの湿地とサロベツを行き来する研究者の先生によるお話。



4：ヒグマの顔折り紙に挑戦！